

2027年3月卒業予定のキャリタス就活・学生モニター（現大学3年生、修士1年生）を対象に、7月後半時点の就職意識や就活準備状況などを尋ねた。夏季インターンシップが本格的に始まる前であることから、情報収集や応募状況を中心に、今夏の過ごし方など幅広く調査した。

(*前年同時期は調査をしていないため前年値なし)

1. 就職活動の準備状況

- 7月下旬時点で、友達と就活の話をする「よくする」という学生が過半数（56.3%）
- 就活準備で行ったことは「自己分析」82.0%、「業界研究」70.6%、「企業研究」67.3%の順

2. インターンシップ等（※）の情報収集

- 情報収集開始は「3年生の4月」に集中（39.2%）。1～2年次に開始した学生は27.7%
- 情報の入手先は「就職情報サイト」が9割強で最多。「各企業のホームページ」が続く
- 応募前に確認するのは「事業内容」「入社後の待遇」「年間休日・ワークライフバランス」の順

3. インターンシップ等の応募状況

- 「1日以内のプログラム」は8割以上が応募、平均応募社数は6.7社
- 「2～4日間」と「5日間以上」は6割強で、平均応募社数はそれぞれ5.6社、4.1社

4. インターンシップ等の事前選考

- 事前選考でESを提出したのは86.4%、筆記試験75.2%、面接48.7%
- 事前選考の対策で大変なのは「時間がかかる（学業との兼ね合い含む）」が最多（77.1%）

5. 今後のインターンシップ等の参加予定

- 「1日以内のプログラム」は約9割が参加意向を示す。「5日間以上」も約8割に上る
- 参加希望時期は文理とも「8月」「9月」が多いが、秋以降の参加を予定する学生も少なくない

6. 7月後半時点の志望業界

- 志望業界が「明確に決まっている」25.9%、「なんとなく決まっている」58.0%
- 1位「インターネットサービス」、2位「銀行」、3位「情報処理・ソフトウェア」

7. 夏休みの過ごし方

- 文理とも「インターンシップ等への参加」が8割を超え最も多い
- 文系は「アルバイト」「趣味・遊び」が理系に比べ高く、理系は「研究活動・学業」が高い

※「インターンシップ」に限定せず、オープン・カンパニー等も含めて尋ねた

調査概要

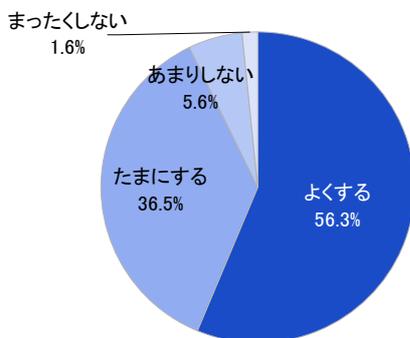
調査対象：2027年3月に卒業予定の大学3年生（理系は大学院修士課程1年生含む）
回答者数：1,057人（文系男子282人、文系女子367人、理系男子274人、理系女子134人）
調査方法：インターネット調査法
調査期間：2025年7月17日～25日
サンプリング：キャリタス就活 学生モニター2027
調査実施：株式会社キャリタス/キャリタスリサーチ

1. 就職活動の準備状況

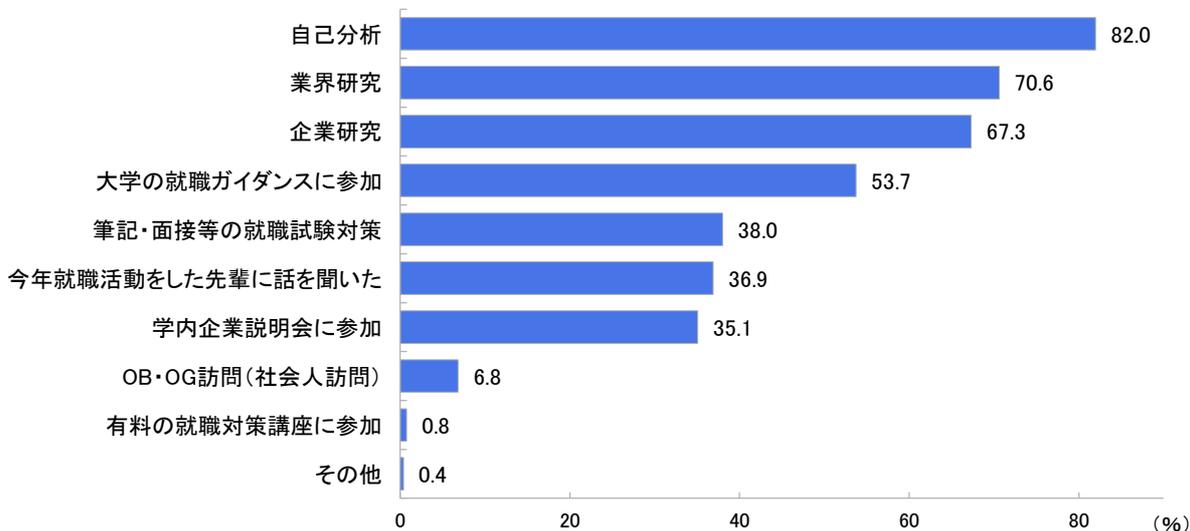
まず、7月下旬の調査時点で、就職活動について話す頻度を聞いてみた。友達と就活の話を「よくする」という回答が過半数を占め(56.3%)、頻繁に話題に上ったり、盛んに情報交換がなされたりしている様子うかがえる。

また、就職活動の準備として行ったことを尋ねると、最も多いのは「自己分析」で約8割(82.0%)。「業界研究」(70.6%)、「企業研究」(67.3%)が約7割で続き、就職活動に向けた準備に着手している学生が少ないことがわかる。「大学のガイダンス」は半数強が参加(53.7%)。「筆記・面接等の就職試験対策」は4割近くが回答し(38.0%)、選考対策に取り組む様子も見て取れる。

<友達と就活の話をする頻度>



<就職活動準備でこれまでにやったこと>



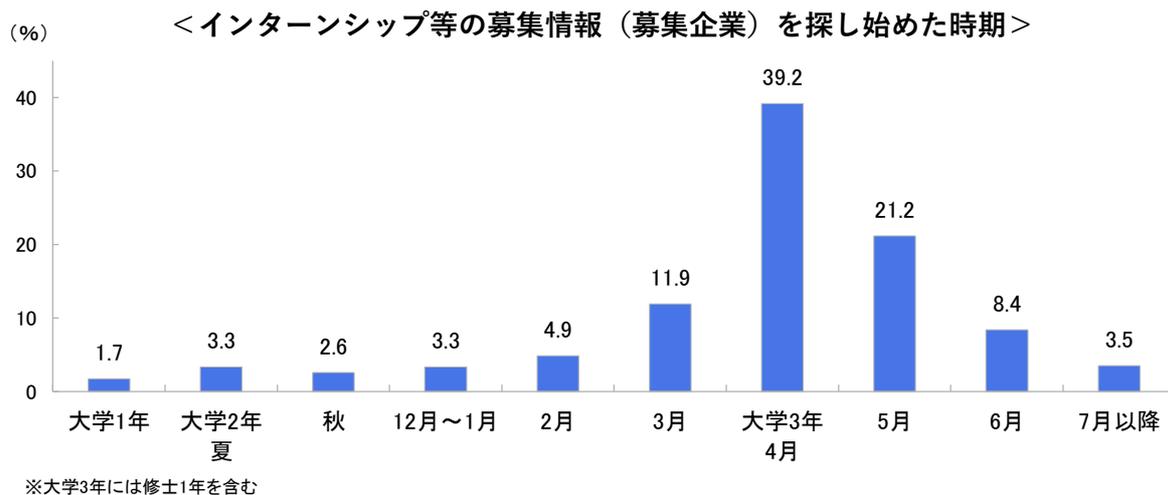
■具体的な準備内容

- 自己分析に関するイベントに参加しました。他人の目を通すことでより客観的に見ることができるようになったので、自分の特性に関して理解を深めることができました。 <文系女子>
- 面接の想定問答を考え、簡潔に話せる練習を行っています。 <理系男子>
- 同業他社が一堂に会するイベントでは、効率よく企業研究を進められたので良かった。 <文系男子>
- 人事の方と直接お話する機会があり、ホームページや採用サイトでは得られない情報や会社の雰囲気などを自分で体感することができた。 <理系女子>
- 早いうちに動いたことで、自己分析、業界研究が一通り完了した。 <文系男子>

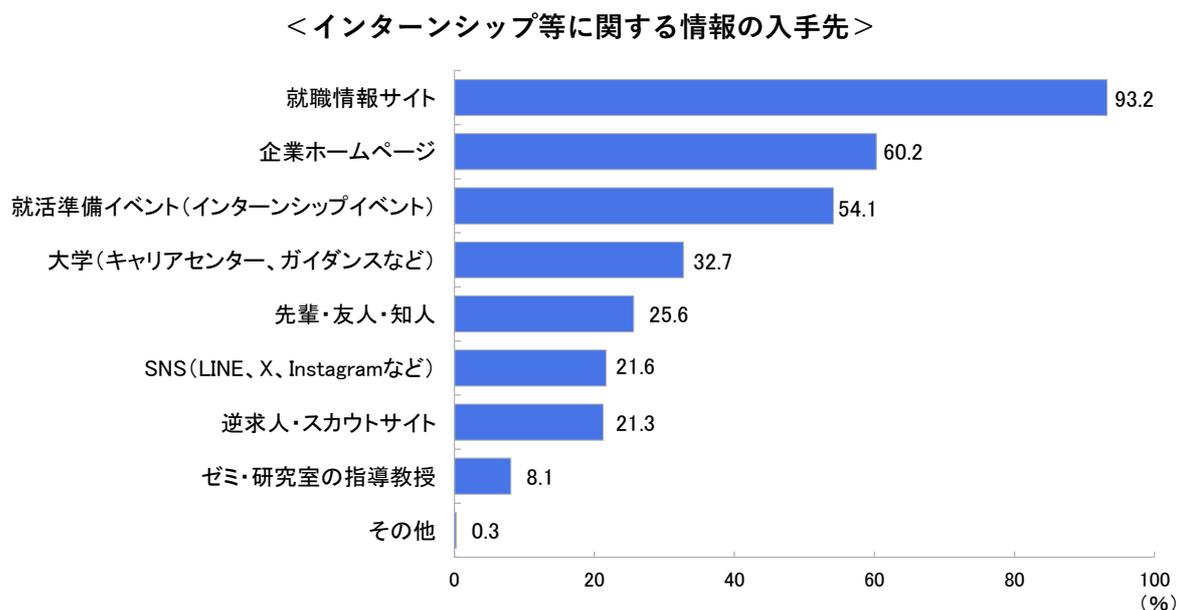
2. インターンシップ等の情報収集

ここからは、インターンシップやオープン・カンパニー（以下、インターンシップ等）に関するデータを確認したい。

インターンシップ等の募集情報（募集企業）を具体的に探し始めた時期を尋ねた。「大学3年生の4月」が最も多く、全体の4割近く（39.2%）が進級直後に情報収集を開始していた。2年生の3月までに開始した人の合計は27.7%で、早い時期から情報収集を開始する学生も少なくない。

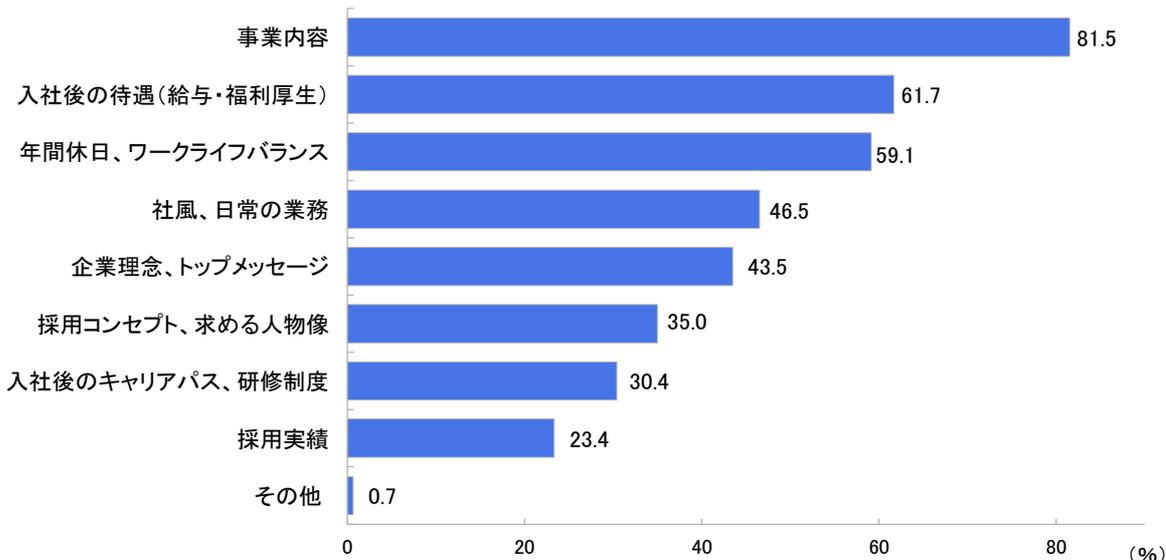


インターンシップ等に関する情報をどこから入手しているのかを尋ねたところ、最も多いのは「就職情報サイト」で、9割以上が選んだ（93.2%）。「企業のホームページ」（60.2%）と「就職準備イベント（インターンシップイベント）」（54.1%）までの上位3項目が5割を超えており、多くの学生が利用していることがわかる。その他「大学内のガイダンス、キャリアセンター」「先輩・友人・知人」「SNS」など様々な手段で情報収集をしていることがうかがえる。



応募にあたって、プログラムの概要(日程・形式等)や内容以外に、企業情報をどの程度確認しているのかを尋ねた。最も多いのは「事業内容」で81.5%。どのような事業を行っているかは、最低限把握しておきたいと考える学生が大半だ。次に「入社後の待遇(給与・福利厚生)」「年間休日・ワークライフバランス」が約6割で続く。「採用コンセプト、求める人物像」「入社後のキャリアパス、研修制度」なども一定数が選んでおり、就職先として意識した上で、インターンシップ等のプログラム参加企業を選ぶ学生が少なくないことが読み取れる。

<応募する前に確認する企業情報>

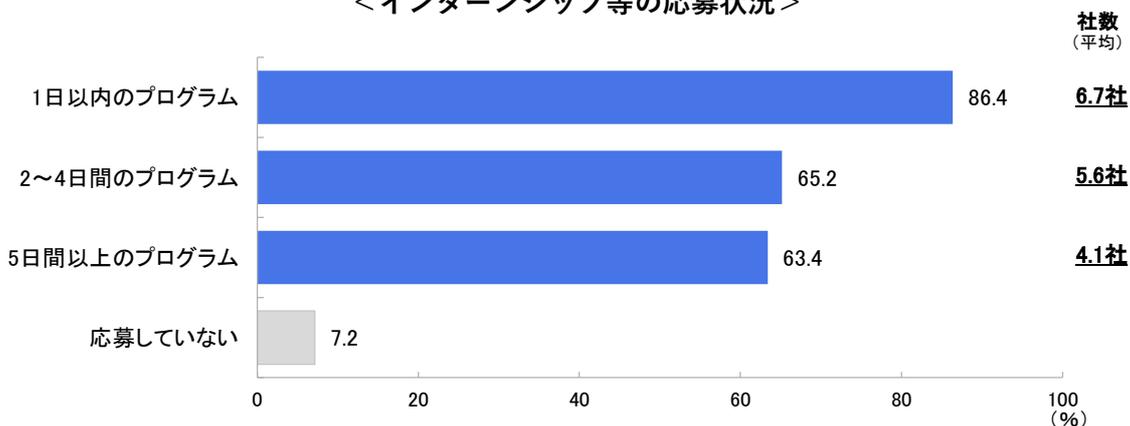


3. インターンシップ等の応募状況

調査時点での応募状況について見てみる。「1日以内のプログラム」への応募経験がある学生は8割台後半に上る(86.4%)。「2~4日間のプログラム」(65.2%)、「5日間以上のプログラム」(63.4%)は、それぞれ6割台半ば。1日以内のものに比べると低いですが、長期のものへの関心も高いことがわかる。

応募社数の平均も「1日以内のプログラム」が6.7社で最も多いが、「2~4日間」は平均5.6社、「5日間以上」は同4.1社で、大きな差は見られない。なお、実数(日数にかかわらず応募経験者を分母に算出)では応募社数の平均は13.0社。昨年9月下旬に実施した2026年卒者への調査では16.4社だったので、今年も同様のペースで動いていると言えそうだ。

<インターンシップ等の応募状況>

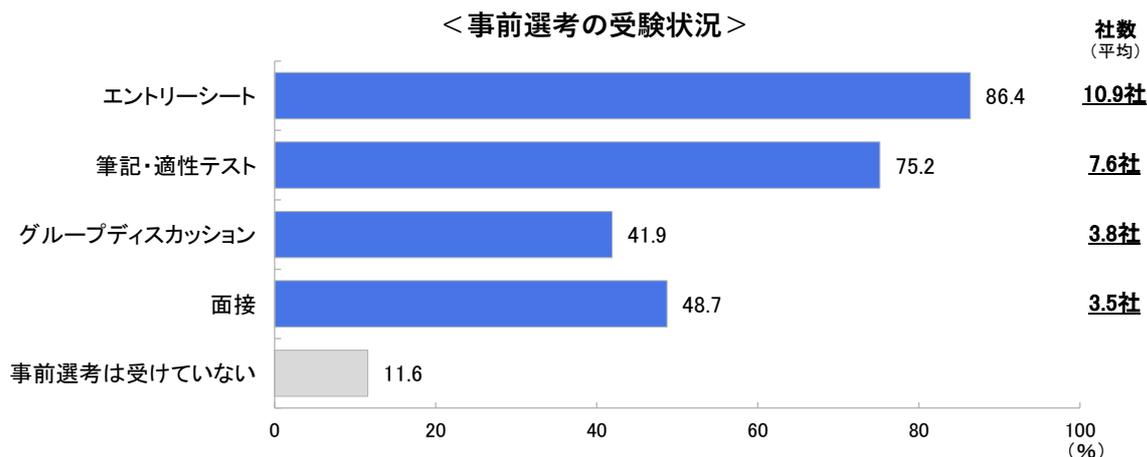


4. インターンシップ等の事前選考

インターンシップ等への応募経験がある学生に、事前選考の経験率を尋ねた。

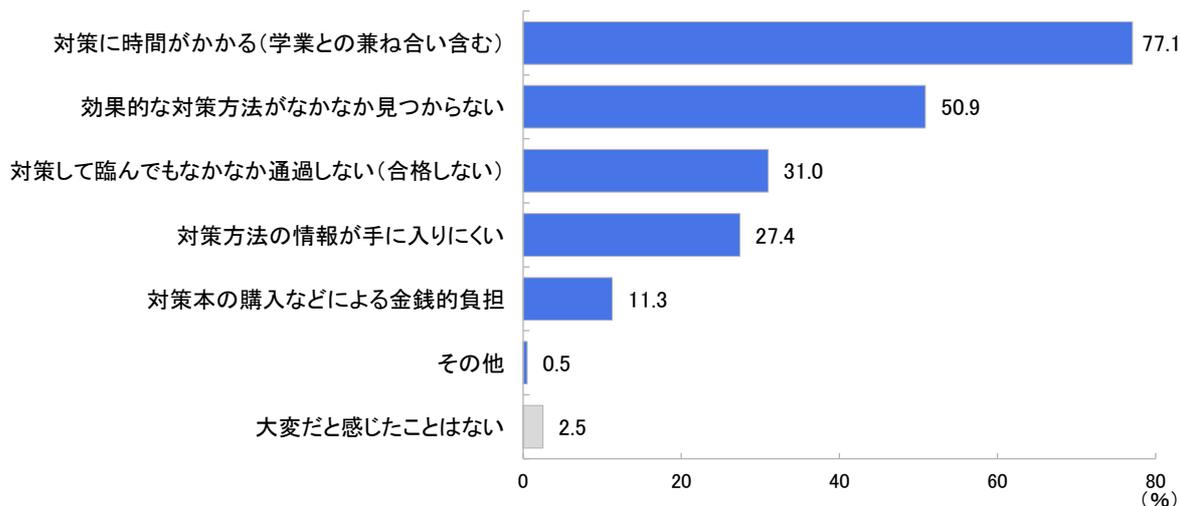
最も多いのは「エントリーシート (以下 ES)」で 86.4%。提出社数の平均は 10 社を超える (10.9 社)。参加にあたっては、ES を求められるケースが多いことがわかる。

「グループディスカッション」「面接」は、経験率が 4 割台、平均社数は 3 社台と、ES に比べると低い。必ずしも実施されないことが一定数あることに加え、ES 等で落選してしまった人やこのあと面接受験に臨む人もいと見られる。



事前選考に向けた対策で大変だと感じたことを尋ねた。最も多いのは「対策に時間がかかる」で 8 割近くに上る (77.1%)。「効果的な対策方法がなかなか見つからない」(50.9%)。「対策して臨んでもなかなか通過しない」(31.0%) が続き、ES の書き方や自己分析、企業研究など、初めてのことに戸惑いながら準備を進める学生も少なくないようだ。

<事前選考の対策で大変だと感じたこと>

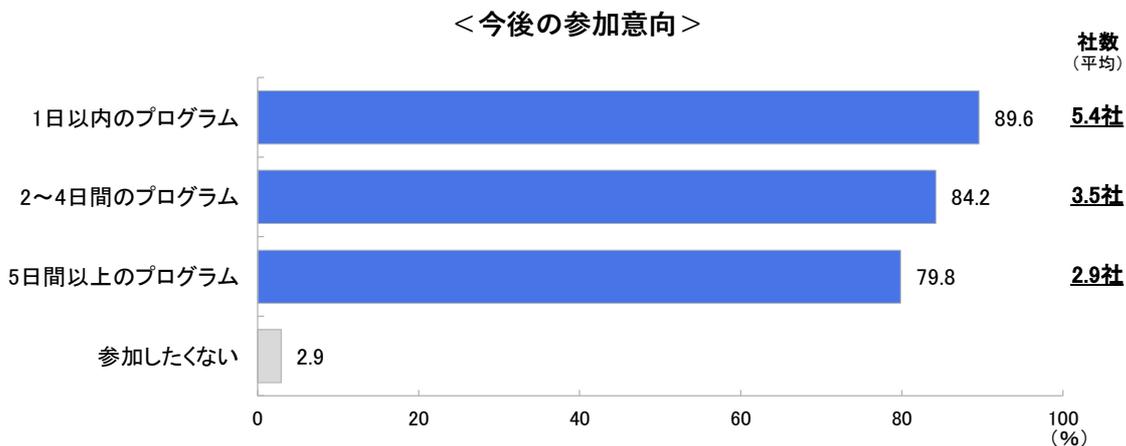


■事前選考対策で大変なこと

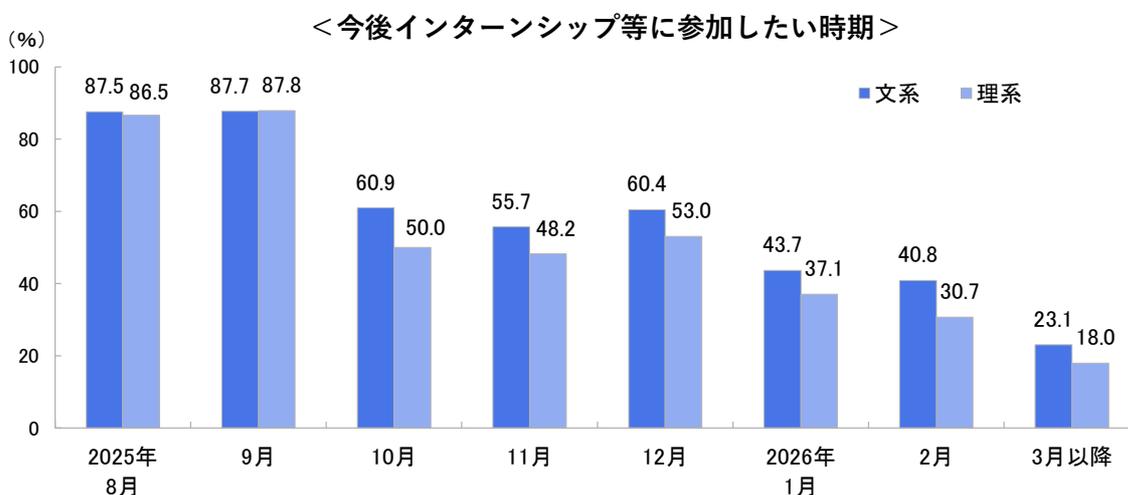
- 授業や研究もある中で、適性検査の勉強などをするのが大変だった。 <理系男子>
- 最初の ES 作りが一番大変だった。キャリアセンターの方に手伝ってもらって作成した。 <文系女子>
- 最初は、何を事前に調べるべきかなどもわからず模索していたので、そこが大変に感じました。 <文系男子>
- 応募理由などは企業や職種によって異なるので、毎回考えなければいけないのが大変だった。 <理系女子>

5. 今後のインターンシップ等の参加予定

すでに参加が決まっているものも含め、今後の参加意向を日数別に尋ねた。「1日以内のプログラム」への参加意向が最も高く、9割近い(89.6%)。「2~4日間のプログラム」(84.2%)、「5日間以上のプログラム」(79.8%)も8割前後と、長期プログラムの参加意向も高く、夏季休暇中の参加に意欲的な学生が多いことがうかがえる。「参加したくない」と回答した学生はわずか2.9%。



参加したいと考えている時期を文理別に見てみる。文理とも「8月」「9月」が圧倒的に多く9割近くが選んだ。10月から12月にかけても、文系は約6割、理系は半数前後が選んでおり、早くも秋以降の参加を考えている学生も少なくない。秋以降は、理系に比べて文系で数値が高い。



■インターンシップ等に参加したい理由

- 実際に業務を体験したり現場で働く社員とお話したりすることで自分がやりたいことと一致しているのか判断できるから。 ＜文系男子＞
- 社会人と学生の差を実感し、今後どう行動するかを考えやすくなると思うから。 ＜文系女子＞
- 選考の優遇が受けられる場合が多いことに加え、以降の就職活動に活かせるスキルや知見を獲得できるから。 ＜文系男子＞
- 実際の業務や職場の雰囲気を体験できるため、企業理解が深まる。また有意義な経験として自己PRや志望動機に具体的に活用でき、説得力を持たせることが可能であるため。 ＜理系男子＞

6. 7月後半時点の志望業界

志望業界の決定状況を尋ねたところ、「明確に決まっている」という学生は全体の25.9%で、4人に1人の割合。「なんとなく決まっている」が最も多く、約6割を占める(58.0%)。「決まっていない」という回答は16.1%。文系に比べ理系の方が志望業界を決定している割合は高く、理系学生の3割強が「明確に決まっている」と回答した(33.8%)。

「なんとなく決まっている」と回答した学生も含め、志望業界のある学生に具体的な業界を尋ねると(40業界から5つまで選択)、全体で最も多かったのは「情報・インターネットサービス」(19.8%)。3位に「情報処理・ソフトウェア」(16.6%)が入っており、今期もIT人気の健在ぶりが確認できる。特に理系は上位2位を占め、ポイントも集中している。一方、文系は「銀行」(23.3%)が1位。僅差で「マスコミ」が続く(22.7%)。

7月時点の志望であり、今後インターンシップ等のプログラムへの参加を通じて変化する学生も少なくないとみられる。

< 志望業界の決定状況 >

	(%)		
	全 体	文 系	理 系
明確に決まっている	25.9	21.0	33.8
なんとなく決まっている	58.0	58.6	57.1
決まっていない	16.1	20.5	9.1

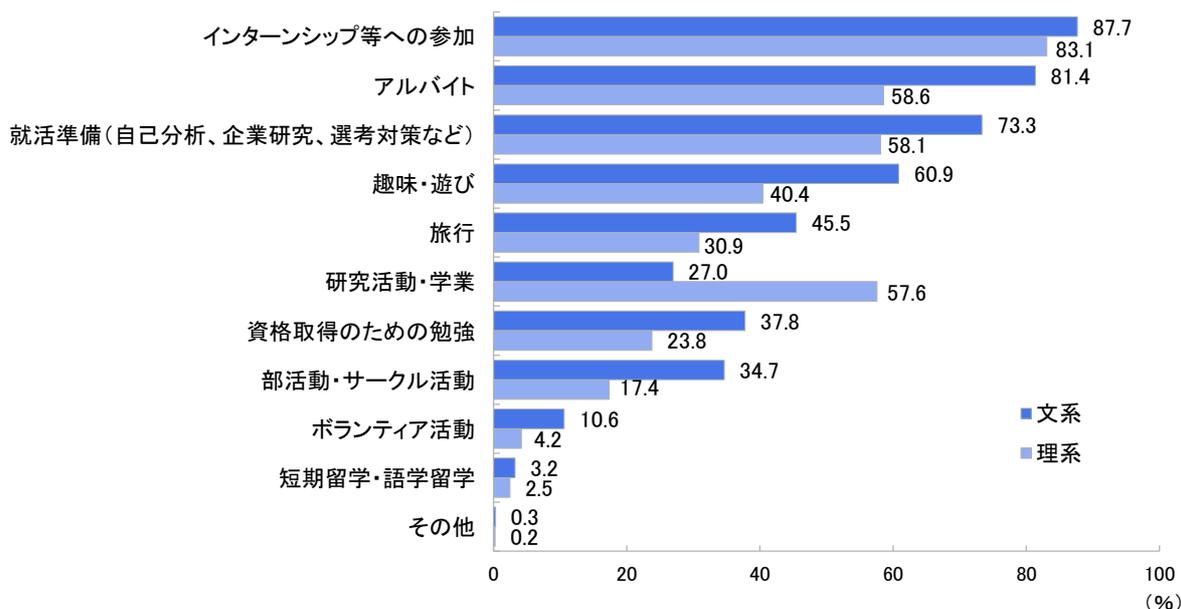
< 志望業界 (上位 15 業界) >

		※5つまで選択 (%)		
	全 体	文 系	理 系	
1	情報・インターネットサービス 19.8	銀行 23.3	情報・インターネットサービス 28.0	
2	銀行 17.0	マスコミ 22.7	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 26.1	
3	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 16.6	水産・食品 18.6	電子・電機 18.1	
4	水産・食品 16.0	ホテル・旅行 15.9	素材・化学 15.6	
5	マスコミ 14.7	官公庁・団体 14.3	調査・コンサルタント 15.4	
6	調査・コンサルタント 14.0	情報・インターネットサービス 14.0	建設・住宅・不動産 15.4	
7	建設・住宅・不動産 13.1	商社(総合) 13.8	機械・プラントエンジニアリング 14.6	
8	官公庁・団体 11.4	調査・コンサルタント 13.0	自動車・輸送用機器 13.7	
9	電子・電機 10.4	エンターテインメント 12.8	医薬品・医療関連・化粧品 13.5	
10	エネルギー 10.0	建設・住宅・不動産 11.4	水産・食品 12.4	
	商社(総合) 10.0	運輸・倉庫 10.9	エネルギー 11.1	
12	ホテル・旅行 9.7	保険 9.9	精密機器・医療用機器 10.8	
13	素材・化学 9.4	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト 9.7	通信関連 9.4	
	医薬品・医療関連・化粧品 9.4	商社(専門) 9.7	銀行 8.4	
15	エンターテインメント 9.1	エネルギー 9.3	農業・林業・鉱業 8.4	

7. 夏休みの過ごし方

今年の夏休みをどのように過ごす予定かを尋ねた。文理とも最も多いのは「インターンシップ等への参加」で、それぞれ8割以上が選んだ。2位以下は文理で差が見られ、文系は全体的にポイントが高く、様々な活動を予定していることがわかる。特に「アルバイト」「趣味・遊び」が理系に比べ高い。反対に理系学生の方が高いのは「研究活動・学業」で、2倍以上の差が見られる(文系27.0%、理系57.6%)。

<今年の夏休みの過ごし方(予定)>



■この夏に具体的にやりたいこと

- インターンシップや企業説明会にたくさん参加したい。企業との接点を作って、企業理解を深め、選考に備えたい。 <理系女子>
- ゼミの調査やボランティアなど、就活に活かせる経験に力を入れたい。 <文系女子>
- 就活で首都圏や関西圏など遠くに行くことがあるため、それに備えてアルバイトで資金を確保しておきたい。 <文系男子>
- 学会前なので研究を中心に過ごす予定。 <理系男子>
- 今後就職活動で研究室を抜けることになっても大丈夫なくらいには研究を行い、データを溜めておく。 <理系女子>
- インターンシップ参加のためのテストを受ける際、自分の実力不足を実感したので、テスト対策はしっかりやりたいです。加えて今までの自分を振り返り、就活軸や業界をより明確に絞れたらと思います。 <文系女子>

■就職活動に関して、今知りたいことや欲しい情報

- 自己分析の仕方、業界別の就活スケジュールの違いなど。 <理系女子>
- インターン選考の面接と、本選考の面接で問われることや準備の違いについて知りたいです。 <理系男子>
- 出世した後の給与に興味があるが、調べてもあまり出てこないのが気になる。頑張ったらどれくらい貰えるのかを全体の平均年収でなく具体的に知りたい。 <文系男子>
- 社会人1年目の生活イメージ(月の生活費、平日・休日の過ごし方など) <文系女子>
- 興味が分散している人(気になる業界や職がバラバラ)がどうやって就活を行っていたか。 <理系男子>
- 学業以外に力を入れたことがないので、ガクチカとしてアピールできる点がなく、そういった場合に何をアピールすればよいのか。 <文系男子>
- 周りの就活生がどのような行動をしているか。平均から逸れていないかどうか確認したい。 <文系女子>